

製品名: LEKTI ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab13280

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	120kDa

抗原情報

遺伝子名	SPINK5
別名	SPINK5; Serine protease inhibitor Kazal-type 5; Lympho-epithelial Kazal-type-related inhibitor; LEKTI
遺伝子 ID	11005.0
SwissProt ID	Q9NQ38
免疫原	抗血清はヒト SPINK5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 494-543

背景

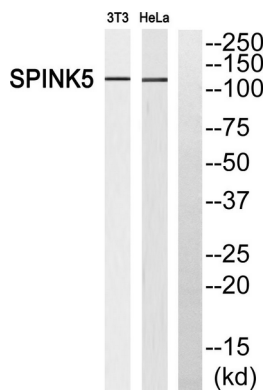
この遺伝子は、15の阻害ドメインを含むマルチドメインセリンプロテアーゼインヒビターをコードしています。コードされているプ

レプトタンパク質はタンパク質分解処理を受けて複数のタンパク質産物を生成し、それらは独自の活性と特異性を示す可能性があります。これらのタンパク質は、皮膚や毛髪の形態形成、および粘膜上皮の抗炎症性および抗菌性保護において役割を果たしている可能性があります。この遺伝子の変異は、魚鱗癬、角化不全、アトピーを特徴とする疾患であるネザートン症候群を引き起こす可能性があります。この遺伝子は、5番染色体上の遺伝子クラスターに存在します。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015年10月]、疾患：SPINK5の欠陥がネザートン症候群（NETH）の原因です[MIM：256500]。NETHは、毛幹異常および免疫系の異常を伴う常染色体劣性先天性魚鱗癬です。典型的な症状は、回旋性線状魚鱗癬、魚鱗癬様紅皮症、内旋毛包（竹毛）、アトピー性皮膚炎、花粉症です。出生後の高い死亡率は、発育不全、感染症、高ナトリウム血症性脱水症に起因します。ドメイン：トリプシン阻害活性ドメイン（ドメイン6）を少なくとも1つ含みます。機能：セリンプロテアーゼ阻害剤。粘膜上皮の抗炎症性および/または抗菌性保護に重要であると考えられます。オンライン情報：SPINK5変異データベース、類似性：15個のKazal様ドメインを含みます。組織特異性：胸腺で高発現しています。口腔粘膜、副甲状腺、バルトリン腺、扁桃腺、膺上皮にも存在します。肺、腎臓、前立腺でもごく低濃度で検出されます。

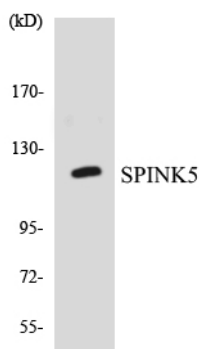
研究分野

細胞生物学

画像データ



SPINK5抗体のウェスタンブロット解析。右レーンはSPINK5ペプチドでブロックされている。



SPINK5抗体を使用したCOLO205細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

LEKTI ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析

